

資料 1-3

強化部 事業報告・計画

公益財団法人日本パラスポーツ協会

令和4年度 合同会議 強化部・JPC 報告(特記事項)

I 国際総合競技大会派遣

(JPC 派遣)

1. ブリスベン 2022VIRTUS オセアニア・アジア競技大会

期 間:2022年11月5日(土) 開会式 ~ 11日(金)閉会式(7日間)

開 催 地:ブリスベン(オーストラリア・クイーンズランド州)

主 催 :国際知的障がい者スポーツ連盟(VIRTUS)、大会組織委員会

参 加 国:25カ国・地域(オセアニア・アジア地域 18、地域外 7)

実施競技:陸上競技、自転車競技、柔道、水泳、卓球、バスケットボール(男子)、ボート、セーリング、
バスケットボール(女子 3x3)、テコンドー、テニス、ボート、セーリング ※下線=日本参加
[デモンストレーション競技] バドミントン、トライアスロン

日本代表選手団:72名(選手 39名、スタッフ 33名)

団 長:斎藤利之(全日本知的障がい者スポーツ協会会長)

副団長:仲前信治(日本パラリンピック委員会 強化支援課 課長)

主 将:渡辺稜(バスケットボール)

旗 手:小林陸(柔道)

成 績:メダル獲得数 53個(金 25個、銀 13個、銅 15個)

特記事項:知的障がいのあるダウン症のクラス(II2)が設置された。

2. 杭州アジアパラ競技大会

新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期。

(全日本ろうあ連盟スポーツ委員会派遣)

1. 第24回夏季デフリンピック

期 間:2022年5月1日(日)~5月15日(日)

開 催 地:ブラジル カシアス・ド・スル

主 催 :国際ろう者スポーツ委員会、大会組織委員会

参 加 国:73カ国・地域 2,401名(選手のみ)

実施競技:陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレーボール、自転車、サッカー、ゴルフ、
ハンドボール、柔道、空手、マウンテンバイク、オリエンテーリング、射撃、水泳、卓球、テコンドー、
テニス、バレーボール、レスリング(フリースタイル)、レスリング(グレコローマン)

※下線=日本参加競技(11競技)

日本選手団:149名(選手95、役員41、本部13)

団長:嶋本 恭規(全日本ろうあ連盟理事・スポーツ委員会事務局長)

総務:倉野 直紀(全日本ろうあ連盟事務局次長・本部事務所長)

主将:茨 隆太郎(水泳)

旗手:簗原 由加利(自転車)、山田 真樹(陸上競技)

成績:金12個、銀8個、銅10個 計30個

特記事項:新型コロナウイルス感染症の陽性者11名。感染源は各競技会場にある可能性が高いと判断し、5月11日以降の競技参加をすべて出場辞退した。

2. 第20回冬季デフリンピック競技大会

開催期間・開催地ともに決まらず未実施。

[参考]令和5年度国際総合競技大会 日程

期日	大会名	開催国・都市	対象
2023.6.4-10	VIRTUS Global Games	フランス・ヴィシー	知的
2023.8.18-27	IBSA World Games	イギリス・マンチェスター	視覚
2023.10.22-28	杭州アジアパラ競技大会	中国・杭州	身体 知的
未定	第20回冬季デフリンピック競技大会	未定	聴覚

II 競技力向上事業関連

1. ナショナルコーチ・スタッフ制度の見直し

近年の選手強化活動の高度化・専門化に対応するため、競技団体全体の強化活動を統括するハイパフォーマンスディレクター(HPD)を各競技団体に配置し、日本代表チームの監督等、チームマネジメントを担う責任者を区分して、それぞれの活動に専念できるよう見直しが行われた。JPCにはHPDと情報共有・相互連携し日本の国際競技力の向上を図る活動を行うハイパフォーマンスマネージャー(HPM)とHPMをサポートするサービスマネージャーを配置できることになった。HPMは、監督・ヘッドコーチ等、強化現場と向き合い強化支援を行うJPC強化本部とも情報共有・相互連携を図り、競技団体の強化活動を支援している。

2. クロストレーニング支援事業

(1)目的

- ・アスリートが複数の競技にチャレンジできる環境を整備し、パラアスリート全体の運動能力向上を目指す
- ・指導者が他競技から指導方法やトレーニングの知識等を共有する事で専門競技の指導に活かす

(2)対象

パラリンピック実施競技団体

(3)実施競技

実施競技団体	クロストレーニング競技
日本障害者カヌー協会	水泳
	パワーリフティング
日本パラ水泳連盟	射撃
日本車いすバスケットボール連盟(女子)	パワーリフティング
	水泳
日本障害者スキー連盟(アルペン)	カヌー
	クロスカントリースキー

3. ジャパン・ライジングスター・プロジェクト(J スタープロジェクト)

JSC 委託事業「J スタープロジェクト」基礎測定会を、県等の障がい者スポーツ協会、障がい者スポーツ指導者協議会、障がい者スポーツセンター等の方々のご協力のもと全国 8 ブロック・10 か所で実施した。

No	県・市	日程	会場	申込	参加
1	岐阜県	7/30(土)	岐阜県福祉友愛アリーナ、岐阜県福祉友愛プール	24	20
2	札幌市	8/14(日)	清田区体育館・温水プール	12	11
3	広島県	8/27(土)	広島県立障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター おりづる	13	12
4	香川県	9/17(土)	高松市西部運動センター、香川県立総合水泳プール	20	18
5	東京都	10/2/(日)	日本大学文理学部キャンパス(世田谷区)	19	17
6	長野県	11/12(土)	長野県障がい者福祉センター サンアップル	24	18
7	大阪市	11/20(日)	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター	44	34
8	埼玉県	11/27(日)	埼玉県障害者交流センター	42	35
9	岩手県	12/11(日)	ふれあいランド岩手	21	20
10	福岡県	12/24(土)	クローバープラザ	30	23
合計				249	208

(補足事項)

6年間で最大の参加数

参加者の49%が10代 国際クラス分け委員等による相談窓口を設置

20を超える競技団体が参加し、参加者のパフォーマンス観察及び競技相談を行なった

4. クラス分けセンター(仮称)の設置に向けた調査

パラアスリートの発掘・育成・強化にあたっては、運動能力や競技適性に加えクラス分けが競技成績に大きく影響することが「持続可能な国際競技力向上プラン」に明記されているが、それらを踏まえ令和4年6月に文部科学省内に「障害者スポーツ振興方策に関する検討チーム」が設置され、「我が国のクラス分け機能の強化が急務であることから、日本パラリンピック委員会(JPC)において令和4年度から着手している国内クラス分けセンターの在り方に関する調査結果等を踏まえ、令和5年度以降に具体化に向けた取組を進める。」と、国として具体的に取り組んでいくことが示された。JPC では、クラス分けセンター(仮称)設置にむけたワーキングチームを組織し、クラス分けセンターの機能・体制について国内外で調査を行なった。

5. 研修会等

(1)JPC インテグリティ研修会

目的:JPC 加盟競技団体に所属する強化指定選手及びコーチ・スタッフのインテグリティの向上を図るとともに、競技団体のガバナンス強化を図ることを目的とする。

対象	期日	参加数	テーマ
JPC 強化指定選手	9月28日(水)	309	ハラスメント
	10月15日(土)	172	
	12月21日(水)	221	
コーチ	10月26日(水)	236	ハラスメント
	12月16日(金)	107	
	1月28日(土)	83	
事務局スタッフ	1月18日(水)	82	ハラスメント
	2月18日(土)		
	3月10日(金)		不正受給・選手選考規定
	3月11日(土)		

(2)JPC アスリートキャリア研修会

目的:次のキャリアへの移行期(キャリアトランジション時)について、キャリアトランジションを経験したパラリンピアンを経験を学ぶとともに、グループディスカッションを通じてキャリア形成の課題や解決策を探る。

期日:令和4年10月27日(木)

場所:オンライン

参加者:JPC アスリート委員会 委員

内容:第1部 パネルディスカッション

(ファシリテーター)三阪洋行(JPC アスリート委員会委員長)

(パネラー)初瀬勇輔、鈴木孝幸、花岡伸和、若杉遥(以上、全員パラリンピアン)

第2部 グループディスカッション

(3)JPC ユースアスリート研修会

目 的:パラリンピック実施競技団体で強化指定されて間もない選手や、競技別ユース大会への出場対象の選手に、本研修会を通してアスリートとしての心構えや強くなるための知識等を習得する機会を提供し、将来国際大会で活躍できるアスリートの育成の一助とする。

期 日:①令和 5 年 1 月 21 日(土) ②令和 5 年 2 月 11 日(土) ③ 令和 5 年 3 月 4 日(土)

場 所:NTC 会議室

内 容:①パラリンピックについて ②目標設定(グループワーク) ③パラリンピアン講話

※フォローアップ(オンデマンド視聴):スポーツ栄養、コンディショニング、SNS 利用と注意点

(4)JPC ハイパフォーマンスマネージメントチームセミナー

目 的:パラリンピック実施競技団体(以下、パラ競技団体)の HPD の役割について HPD やヘッドコーチ、監督等の共通理解を図ることにより、競技力向上に向けたより良い組織体制整備を促進する。

①第 1 回

期 日:令和 4 年10月8日(土)、9日(日)

場 所:日本大学文理学部(※対面実施の場合)

参加者:パラリンピック実施競技団体スタッフ(HPD、HC、次世代担当コーチ)

内 容:HPD 等への資質向上に資する研修

②第 2 回

日 時:令和 5 年1月 28日(土)、29日(日)

場 所:NTC イースト

参加者:HPD、監督・ヘッドコーチ、次世代スタッフ等

内 容:HPD の職務範囲の明確化とコミュニケーションスキルの向上

(5)JPC 加盟競技団体 組織力向上研修会

目 的:JPC 加盟団体が、ガバナンスコードを含めた競技団体の組織力・マネジメント力を上げる知識や運営方法を共有する。

日 時:①第 1 回:令和 5 年1月 27 日(金) ②第 2 回:令和 5 年 2 月 3 日(金)

場 所:オンライン

参加者:JPC 加盟競技団体 役員(常務理事・専務理事・事務局長等)

内 容:①組織発展のための人材戦略 ②役員募集サポート ③競技団体事例紹介 ④意見交換

6. JPC 法務支援デスクの設置

令和4年度より、ガバナンスコード適合性審査対象競技団体に向けた法務支援デスクを JPC 内に設置。法務業務は法律事務所に委託(競技団体には、設置の主旨、利用について説明済み)。

設置期間:令和 4 年 5 月中～令和5年 3 月31日

支援内容:①スポーツ団体ガバナンスコードに関する相談 ②規程・マニュアルの整備(個別修正、既存規程との調整) ③日常業務の法務サポート ④役員、委員会等の体制整備サポート ⑤懲罰制度の構築サポート

7. JPC 運営委員会/JPC 専門委員会/JPC 加盟競技団体会議

(1)JPC 運営委員会

回	期日	審議・報告内容
1	令和 4 年 5 月 25 日(水)	ナショナルコーチ・スタッフ等の追加/R4 年度競技力向上事業基本方針/ 国際総合競技大会/R4 年度事業計画・進捗
2	令和 4 年 8 月 31 日(水)	Virtus OA 大会日本代表決定/JPC 戦略計画 強化目標の見直し/ 国際総合競技大会/事業進捗
3	令和 4 年 12 月 14 日(水)	JPC 加盟競技団体要項改正/JPC 強化指定選手制度改正/ Virtus グローバルゲームズ日本代表選手団編成方針及び決定手順/ ナショナルコーチ・スタッフの委嘱/国際総合競技大会/国際会議/事業進捗
4	令和 5 年 3 月 17 日(金)	R5 ナショナルコーチ・スタッフ承認/IBSA ワールドゲームズ派遣方針及び 派遣基準 他/国際総合競技大会/国際会議/令和 4 年度事業報告/令和 5 年度事業計画案

(2)JPC 女性スポーツ委員会

回	期日	審議・報告内容
1	令和 4 年 10 月 20 日(木)	女性アスリート障がい別研修会(知的)/女性スポーツ連絡担当者向けオン ライン研修会/J-STAR 視察・検証/ジャパンパラ競技大会(陸上・水泳)に おける女性アスリート相談窓口/ジャパンパラ競技大会(水泳)におけるキッ ズルームの設置/オンライン相談窓口の実施

(3)JPC アスリート委員会(総会・幹事会)

回	期日	審議・報告内容
1	令和 4 年 6 月 14 日(火)	アスリート委員会の概要・過去の活動報告/各 NF アスリート委員会の活動 の共有/アスリートキャリアアンケート/研修会/アジアパラリンピック委員会 アスリート委員会選挙
2	令和 5 年 2 月 21 日(火)	NF アスリート委員会の設置状況調査の結果報告/アスリートキャリアアンケ ートの集計報告/JSTAR プロジェクトの視察報告と今後の方向性/APC ア スリート委員会選挙

(4)JPC 強化本部

回	期日	審議・報告内容
1	令和4年4月18日(月)	北京パラリンピック競技大会視察報告/強化本部体制/その他事業進捗
2	令和4年5月13日(金)	各領域(コーチ、発掘育成、トレーナー、情報科学、クラス分け)活動報告/HPM 情報共有/アンケート調査
3	令和4年6月13日(月)	各領域の活動スケジュール/HPM 情報共有/事務連絡
4	令和4年7月21日(木)	強化本部体制/HPM 情報共有/パリ視察本部村外拠点/その他事業進捗
5	令和4年9月26日(月)	JPC 運営委員会審議事項及び JPC 強化体制等報告/J-STAR、ジャパンパラ視察報告/HPM 情報共有/Virtus オセアニア・アジア競技大会 日本代表選手団/その他事業進捗
6	令和4年10月24日(月)	HPMT セミナー研修会報告/各領域活動報告/強化費配分評価・強化本部ヒアリング/その他事業進捗
7	令和4年11月14日(月)	Virtus オセアニア・アジアゲームズ報告/各領域活動報告/HPM セミナー(フォローアップセミナー、第2回セミナー)/その他事業進捗
8	令和4年12月12日(月)	強化本部ミッション/各領域活動報告/ HPM 活動報告/その他事業進捗
9	令和5年1月7日(土)・8日(日)	JPC 強化戦略計画に基づく強化本部ミッションの協議
10	令和5年1月16日(月)	JPC 強化戦略計画に基づく強化本部ミッションの協議
11	令和5年2月13日(月)	強化本部ミッションのまとめ/大会視察報告/各領域活動報告/HPM 活動報告/その他事業進捗
12	令和5年3月(予定)	令和4年度活動振り返り/令和5年度活動計画 他

(5)JPC 加盟競技団体会議

回	期日	審議・報告・説明内容
1	令和4年 4月28日(木)	【1部】令和4年度JPC法務支援の実施 【2部】ハイパフォーマンスマネージャーとハイパフォーマンスディレクターおよび競技団体との連携
2	令和4年7月21日(木) 令和4年7月22日(金)	【1部】強化費の仕組み、手続きの流れ 【2部】強化費の対象経費/新しい生活様式について事例紹介/競技団体で情報交換/質疑応答
3	令和4年12月20日(火)	令和4年度クロストレーニング支援事業/ JPC強化指定選手制度の改定/令和5年度に向けた強化費配分評価方法及びJPC強化本部ヒアリング
4	令和5年3月(予定)	令和5年度事業